

烽火（のろし）は、戦国時代に有効な情報伝達手段とされ、湯村山にあった湯村山城にも烽火台があったとされています。

現在湯村山は、健康ブームも相まって、低登山やウォーキングを行うことができる場として市民からも親しまれています。

こうしたことを踏まえ、本年が信玄公生誕500年の当年であることや、信玄公ゆかりの地である湯村山が注目されていることを契機に、ふるさと納税制度のガバメントクラウドファンディング（GCF）を活用し、県内外から広く寄附を集め、信玄公生誕500年のレガシーの一つとして、烽火台を復活・整備することで、湯村山や信玄の湯 湯村温泉への観光客の誘引や、イベントなどでの活用などを通じて、信玄公の歴史を学べる機会の創出を図ります。

また、寄附していただいた方を新たな甲府ファンとして獲得することで交流人口の増加にもつなげて行きたいと考えています。

整備費用

800万円

募集期間

令和3年11月3日（祝・水）から
令和4年2月1日（火）まで

募集方法

ふるさと納税サイト

「ふるさとチョイス」に掲載

完成予定

令和4年秋頃の完成を目指します。



2006年に復元された烽火台
2012年まで湯村山に存在した



実際に烽火を上げているところ
写真提供：湯村ホテル



皆さんの
ご協力を
よろしく
お願い
します